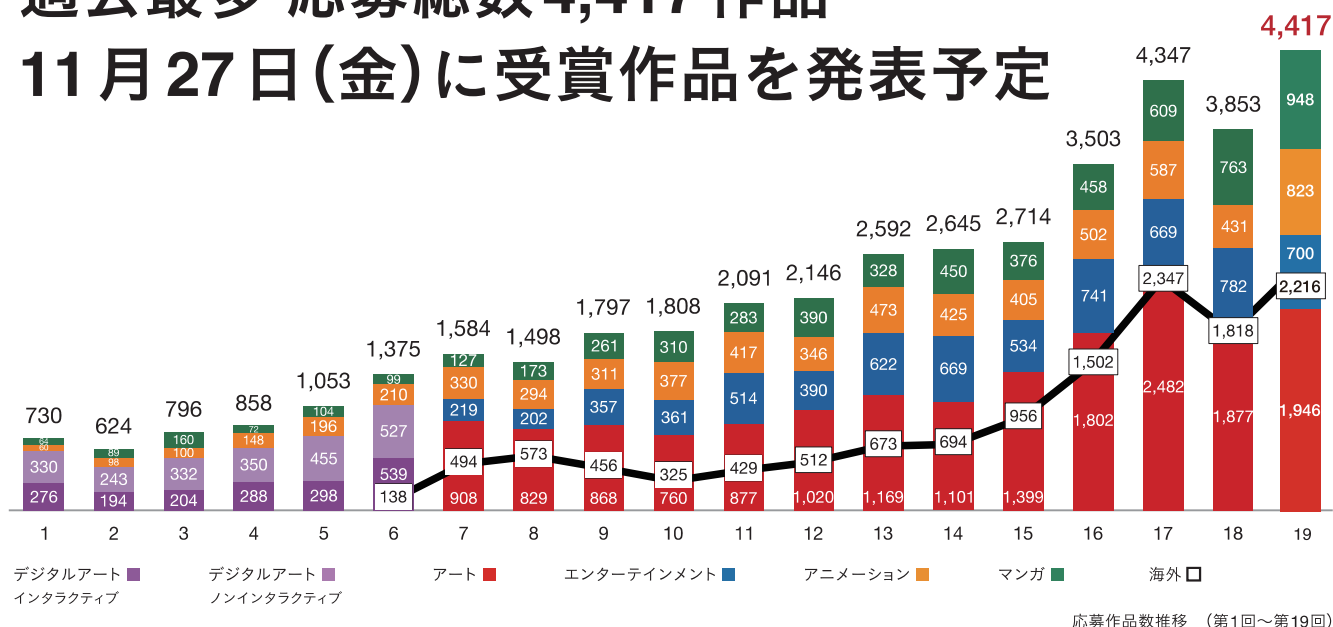


平成27年度[第19回] 文化庁メディア芸術祭 過去最多 応募総数4,417作品 11月27日(金)に受賞作品を発表予定



平成27年度[第19回]文化庁メディア芸術祭の作品募集は、9月9日をもって終了しました。今年度も多くの作品が寄せられ、応募総数は昨年度の15%増、過去最多となる4,417作品を記録しました。特に国内からの応募数2,201作品(昨年度：2,035作品)およびアニメーション部門、マンガ部門への応募数が過去最多を記録し、著しく増加しました。また、海外からは86の国と地域から過去最多の応募がありました。文化庁メディア芸術祭は、メディア芸術の多様性と今日的な表現を広く紹介する国際的なフェスティバルへと発展しています。

今後は、各部門の審査委員による審査を実施し、高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。受賞作品は、功労賞と審査委員会推薦作品とともに11月27日(金)に発表予定です。

文化庁メディア芸術祭の公式ウェブサイト・フェスティバルサイトでは、受賞作品の発表や国立新美術館（東京・六本木）を中心に複数の会場で開催予定の受賞作品展の情報等を随時発信します。

公式ウェブサイト <http://j-mediaarts.jp>

フェスティバルサイト <http://festival.j-mediaarts.jp>

※フェスティバルサイトのプレスページでは、リリースの閲覧、取材や広報用素材の申請が可能です。

Facebook <http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival>

Twitter @JMediaArtsFes

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内]鎌倉・土井・伊藤

Email: jmaf19-pr@hilopress.net Tel: 03-5577-4792 Fax: 03-6369-3596 ※受付時間：平日10時～18時

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-11-905

平成27年度 [第19回] 文化庁メディア芸術祭 応募概況

募集部門：4部門（アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガ）

募集期間：2015年7月7日（火）～ 9月9日（水）65日間

■ 応募作品数

インタラクティブアート	219
メディアインスタレーション	240
映像作品	681
映像インスタレーション	179
グラフィックアート	448
ネットアート	79
メディアパフォーマンス	100
アート部門	計 1946

ゲーム	121
映像・音響作品	272
空間表現	101
ガジェット	87
ウェブ	79
アプリケーション	40
エンターテインメント部門	計 700

劇場アニメーション テレビアニメーション オリジナルビデオアニメーション	67
短編アニメーション	756
アニメーション部門	計 823

単行本で発行されたマンガ 雑誌等に掲載されたマンガ	855
コンピュータや携帯情報端末等で 閲覧可能なマンガ	41
同人誌等を含む自主制作のマンガ	52
マンガ部門	計 948

応募作品総数	4,417
---------------	--------------

■ 海外からの応募

2,216作品／86ヵ国・地域（昨年度 [第18回] 1,818作品／70ヵ国・地域）

アイスランド、アイルランド、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アルバニア、アルメニア、アンドラ、イスラエル、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ウクライナ、ウズベキスタン、ウルグアイ、英国、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カタール、カナダ、韓国、キプロス、ギリシャ、グルジア、クロアチア、ケニア、コスタリカ、コロンビア、ジャマイカ、シンガポール、ジンバブエ、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タイ、台湾、チェコ共和国、中国、チュニジア、チリ、デンマーク、ドイツ、トルコ、ナイジェリア、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、パナマ、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、米国、ベトナム、ベネズエラ、ベラルーシ、ペルー、ベルギー、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボリビア、ポルトガル、香港、マルタ、マルティニーク島、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モルドバ、モロッコ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルワンダ、レバノン、ロシア（五十音順）

受賞作品は11月27日（金）に発表予定

受賞発表	2015年11月27日（金）記者発表会 15:00～16:30（予定） 会場：国立新美術館（東京・六本木）3階 講堂 ※審査委員による講評のほか、受賞者の登壇を予定しています。 ※記者発表会についての詳細は11月上旬に発表予定。
贈呈式	2016年2月2日（火） 会場：国立新美術館（東京・六本木）
受賞作品展	2016年2月3日（水）～2月14日（日） 会場：国立新美術館（東京・六本木）他 ※国立新美術館は2月9日（火）休館 他会場については決まり次第、フェスティバルサイト等でお知らせします。

■ 審査委員

アート部門

石田 尚志（画家／映像作家／多摩美術大学准教授）
植松 由佳（国立国際美術館主任研究員）
佐藤 守弘（視覚文化研究者／京都精華大学教授）
中ザワ ヒデキ（美術家）
藤本 由紀夫（アーティスト）

エンターテインメント部門

飯田 和敏（ゲーム作家／立命館大学映像学部教授）
宇川 直宏（現在美術家／京都造形芸術大学教授／DOMMUNE 主宰）
工藤 健志（青森県立美術館学芸員）
東泉 一郎（デザイナー／クリエイティブディレクター）
米光 一成（ゲームデザイナー）

アニメーション部門

大井 文雄（アニメーション作家）
小出 正志（アニメーション研究者／東京造形大学教授）
高橋 良輔（アニメーション監督）
森本 晃司（アニメーション監督）
山村 浩二（アニメーション作家／東京藝術大学大学院教授）

マンガ部門

犬木 加奈子（マンガ家／大阪芸術大学客員教授）
門倉 紫麻（マンガライター）
すがや みつる（マンガ家／京都精華大学教授）
古永 真一（文学者／首都大学東京准教授）
松田 洋子（マンガ家）

■ 選考委員

アート部門

小町谷 圭（メディアアーティスト／札幌大谷大学専任講師）
田坂 博子（東京都写真美術館学芸員／恵比寿映像祭キュレーター）
中尾 智路（福岡アジア美術館学芸員）
西川 美穂子（東京都歴史文化財団学芸員）

服部 浩之（青森公立大学 国際芸術センター青森（ACAC）学芸員）
松井 茂（詩人／情報科学芸術大学院大学（IAMAS）准教授）
鷲田 めるろ（金沢21世紀美術館キュレーター）

■ 各 賞

高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。
また、審査委員会の推薦により、メディア芸術分野に貢献のあった方に対して、功労賞を贈呈します。

メディア芸術祭賞（文部科学大臣賞）

大 賞：賞状、トロフィー、副賞 60 万円 優秀賞：賞状、トロフィー、副賞 30 万円
新人賞：賞状、トロフィー、副賞 20 万円 功労賞：賞状、トロフィー
このほか、優れた作品を審査委員会推薦作品として選定します。



第18回文化庁メディア芸術祭
贈呈式の様子（2014年度）

主催	文化庁メディア芸術祭実行委員会		
問合せ先	文化庁メディア芸術祭事務局 [CG-ARTS 協会内]		
	Email : jmaf@cgarts.or.jp	Tel : 03-3535-3501	（受付時間：平日 10 時～ 18 時）